

C-14 年代測定試料カードに関する説明書
(伝世品 (歴史・民俗・民族資料)・美術品用)

株式会社加速器分析研究所

弊社に測定をご依頼頂く試料に関して、試料カードのご記入をお願いしております。これはその際にご参照頂く説明書です。

試料カードは測定目的に応じて遺跡発掘調査用、地質・古環境等調査用、伝世品・美術品用の 3 種類をご用意しており、本説明書は伝世品・美術品用に対応します。目的に合うものをご利用下さい。

なお、試料カードは弊社ホームページ (<http://www.iaa-ams.co.jp/faq5.html>) よりダウンロードすることが可能です。電子ファイルにご記入頂き、Eメール等でお送り頂けます。

試料名・番号

測定試料としての名称や番号を記載して下さい。個々の測定試料に対して他と識別可能な試料名や番号を与えることで、試料の取り扱いやお問い合わせの際の混乱を避けることができます。

同様の理由から、可能であれば歴史・民俗・民族資料、美術品としての名称 (資料名) も合わせて記載して下さい。

試料の種類

試料の種類によって前処理の方法が異なります。測定目的にかなう試料を選び、適切な処理を行うことが大切です。

炭化物・木片・植物片・紙・布・繊維・漆等：保存、保管されている間に試料とは異なる年代を示す炭素に汚染される可能性があります。このため、まず表面的な不純物を除去した後、さらに汚染を除去するため酸-アルカリ-酸 (Acid-Alkali-Acid : AAA) 処理を行います。

貝殻・サンゴ：汚染された可能性のある表層部分を超音波洗浄や塩酸による処理で除去して試料とします。

骨・歯：コラーゲンを抽出して試料とします。コラーゲン抽出には別途料金を頂いておりますのでご相談下さい。

その他、特に処理方法についてご要望がある場合には、「処理方法のご要望」欄に記載して頂いても結構です。

試料採取年月日・採取者名・所属機関

もとの資料から測定に用いる試料を採取する作業に関する情報をご記入下さい。弊社社

員が採取する場合には、ご記入頂かなくても結構です。

試料（資料）の来歴

入手・製作・出土時の状況や場所、伝世・修復・保存処理・保管の状況や場所、年代の異なる炭素（modern 或は dead carbon）の混入の可能性等について記載して下さい。その状況によっては、試料の採取位置、処理方法等について特に検討を加える必要が生じる場合があります。

年代測定の目的・意義

明らかにしたい年代について記載して下さい。試料の選定や年代測定結果の妥当性について測定者が判断する材料となります。

炭素量が少なく AMS 測定が不可能な場合

試料量が不足する場合、もとの試料と一緒に処理できる追加試料を頂ければ、合わせて処理を実施することができます。また、もとの試料とは別に測定できる試料がある場合には、代替試料として処理を行います。状況によってご相談下さい。

残試料の取扱い

処理、測定後に残った試料について、返却をご希望の場合には測定終了後に返却致します。特に返却を希望されない場合には、弊社にて3年間保管した後、処分致します。「2.希望なし」を選ばれた場合にも、測定終了後3年以内は残試料の確認が可能です。

処理方法のご要望

上述したような処理方法に関するご要望を含め、試料の取り扱い全般について具体的に記載して下さい

従来 of 測定値または推定値、関連文献

測定結果について判断する一つの材料となりますので、「1 万年前より古い」といった大まかな予想でも記載して頂けると参考になります。ブラインド・テストを意図するような場合には、特に記載しなくても結構です。

報告書に関する指示

特別な指示がない限り、報告書には化学処理、測定、年代値の算出方法に関する説明と、測定結果（表）が記載されます。報告書の体裁、書式、項目、提出期限等、詳細な指定がある場合は明示して下さい。

暦年較正はご要望に応じて行います。使用するデータベースやプログラムに関するご希

望がありましたら記載して下さい。海洋試料の暦年較正については不明な点が多いため、通常は行っておりませんが、ご要望には対応致します。その際には算出条件を具体的に指定して頂きます。なお、較正年代の記載は、特に指示がない場合 cal BC/AD としていますが、cal BP の表記も可能です。

測定依頼者、所属機関

測定依頼者の住所・電話・Eメールアドレスをご記入下さい。

試料・分析方法に関する問い合わせ先

問い合わせ先が測定依頼者と異なる場合にご記入下さい。

請求書情報

上記依頼者と異なる場合があります。宛名、送付先、日付等に指示がある場合は詳細にご記入下さい。

(2013年5月改訂)